

平成19年度シラバス

教科名	科目名	履修学年	区分	単位数
地理歴史	世界史B	2年	文型必修	3単位

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	各文化圏の成立過程を学習することを通じて、現代文明の基礎を理解する。
使用教科書・副教材等	山川出版社「詳説世界史B」 浜島書店「新詳世界史図説」
授業方法・授業形態	教科書・図表・作業プリントを用いて、理解すべき事項やその他の情報を整理していく。 写真やビデオなどにより、興味関心を高め、理解の深化を図る。
備考	

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他
第1学期	○人類の誕生と進化・文化から文明へ 古代オリエント世界(メソポタミア・エジプト・東地中海・イラン) ギリシア世界 ローマ世界 キリスト教の成立	4月 ↓ 7月	人類の進化の過程、農耕牧畜が社会の成立に及ぼした影響が理解できる。 メソポタミア・エジプト文明成立の背景・特色・違いを理解できる。 イラン人の歴史的役割が説明できる。 ギリシア文明成立の背景・民主政治の成立と崩壊の過程を説明できる。 ローマ史の概略・現代社会とのつながり・キリスト教の発展を政治体制の変化を中心に理解できる。	地図を用いた作業やビデオ・DVD視聴などを組み込む。
	【課題・提出物等】 ノート・プリント			
	【第1学期の評価方法】 定期考査では知識量を問うだけではなく、歴史的思考力を問う内容の問題を多くしたい。			

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他
第2学期	○アジア・アメリカの古代文明 インドの古代文明 東南アジアの諸文明 中国の古典文明 ○東アジア世界の形成と発展 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 東アジア諸地域の自立化 モンゴル民族の発展 イスラーム世界の形成と発展	8月 ↓ 12月	インド社会の変遷・東南アジアとの関わりが宗教との関わりで理解できる。 黄河文明の成立から漢の滅亡まで中央集権体制の成立と崩壊という観点で理解できる。 中国社会の問題点(貧富・漢民族と周辺諸民族・政治行政組織・儒学を中心とする諸思想など)を整理し、その背景を理解できる。 イスラム教の特徴、他宗教との広陵を中心にイスラム帝国は変遷する過程を整理できる。	地図を用いた作業やビデオ・DVD視聴などを組み込む。

第2学期	【課題・提出物等】 ノート・プリント
	【第2学期の評価方法】 定期考査では知識量を問うだけではなく、歴史的思考力を問う内容の問題を多くしたい。

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他
第3学期	○ヨーロッパ世界の形成と発展 西ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の成立 西ヨーロッパ中世世界の変容 ○アジア諸地域の繁栄	1月 ↓ 3月	西ヨーロッパ世界形成の過程をキリスト教徒ゲルマン民族とのつながりを中心に説明できる。また、教皇権の確立と封建社会成立の関わりを理解できる。 東ヨーロッパ社会を西ヨーロッパ社会との違いから理解できる。 十字軍や商業の発達と王権の伸長を結びつけることができる。 異民族の支配から脱した漢民族の主権回復の過程を説明できる。	地図を用いた作業やビデオ・DVD視聴などを組み込む。
	【課題・提出物等】 ノート・プリント			
	【第3学期の評価方法】 定期考査では知識量を問うだけではなく、歴史的思考力を問う内容の問題を多くしたい。			

【年間の学習状況の評価方法】 5回の定期考査の結果を中心に、提出物・作業プリント・小テストの状況、授業に対する姿勢などを総合的に評価する。
--

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	①世界史は地図と仲良くする教科であることを忘れないでほしい。 ②授業に集中すること
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	①授業道具を大切にすること。 ②授業プリントはノートに貼ること。

(2) 評価規準及び評価の観点

定期考査・小テスト・復習テスト・提出物の状況・授業態度・出欠状況を総合的に評価する。
--

3 担当者からのメッセージ

--